

USRP N200 シリーズおよび X300 シリーズ用の同期確保のための付加コード

2020 年 11 月 19 日

石川高専 山田洋士研究室

配布内容

- 本ファイルと同時に配布される配布物の内容は、下記です。
 - ✓ README.pdf 本ファイル
 - ✓ 00Sync_Code ディレクトリ：同期確保のための付加コード（本来の配布物）
 - ✓ GRC ディレクトリ：研究会予稿で紹介した GRC フロー図と同様の構造の GRC ファイル（参考用）
 - ✓ SynchronizedCode ディレクトリ：付加コードを追記した Python コード（参考用、送信を行うコードもあるので、GNU Radio / USRP 環境で何も考えずにこのファイルをいきなり実行すると、ドータボードを破損する可能性があります）

著作権について

- 本ソースコードの著作権は、下記の著作権者が有します。ソースコード内にも記載があります。本ソースコードの配布にあたり、ソースコードの配布を受けた利用者には、何らの権利も移行しません。

Copyright Nov. 2020

T. Nakahama@Yoji Yamada Laboratory of NIT, Ishikawa College

- 本ソースコードは無償で使用できます。また、ソースコード改変しての利用を認めます。利用者による改変部分には、著作権者は権利の主張をいたしません。ただし、改変前の部分の著作権は著作権者が保有し、ソースコード内の著作権表示の改変を禁じます。
- ソースコードの内容は、無保証です。このソースコードを用いることにより損害を被っても、著作権らはいかなる責任も負いません。
- ソースコードは、公開時点で最も正しいと思われる内容にするよう努力しておりますが、その時点までの検討内容のスナップショットに相当する内容です。ソースコードの再配布を禁じます。
- このソースコードは、以下の研究会資料で報告いたしました。研究会資料で紹介した活動には、東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究よりご支援を賜りました。実験機材の使用に関して、北陸先端科学技術大学院大学 丹 康雄教授よりご支援を賜りました。記して謝意を表します。
 - 中浜智也, 山田洋士, 亀田 卓, “GNU Radio を用いた USRP およびドータボードでの位相同期の実装例,” 電子情報通信学会技術研究報告 スマート無線 SR2020-34, vol.120, no.238, pp.74-81, 2020 年 11 月 19 日.